令和７年度　第１回千葉市稲毛区公民館運営審議会　議事要旨

１　日　時　令和７年７月１４日（月）　１０時３０分から１１時３０分まで

２　場　所　小中台公民館（講堂）

３　出　席　稲毛区公民館運営審議会委員（１４名）

井上　美穂子委員長、中村　幹雄副委員長
荒川　利重委員、石津谷美佳委員、岡山　尚美委員、井村　　進委員
草壁　陽子委員、佐藤　典子委員、清水　幸子委員、髙山　善則委員
中嶋　隆男委員、西岡　聡子委員、堀谷　陽子委員、森元　　秧委員
保田　裕介委員
（欠席）　なし

事務局（１７名）

生涯学習振興課　志保澤課長、山本主査、秋山主任主事
公民館管理室　　髙本室長、中村室長補佐、川上主事
小中台公民館　　村上館長、谷副館長、中村事務員
黒砂公民館　中島館長、　轟公民館　秋田館長、　稲毛公民館　古川館長
千草台公民館　美濃館長、山王公民館　宇井館長、都賀公民館　川野館長
緑が丘公民館　百瀬館長
（欠席）草野公民館　佐藤館長

傍聴人　なし

４　議　題

（１）　報告事項

ア　令和６年度千葉市稲毛区公民館利用状況について
イ　令和６年度千葉市稲毛区公民館事業報告について

（２）　協議事項

ア　令和８年度千葉市稲毛区公民館事業計画について

５　議事概要

（１）報告事項

ア　令和６年度千葉市稲毛区公民館利用状況について事務局より報告した。

イ　令和６年度千葉市稲毛区公民館事業報告について事務局より報告した。

（２）　協議事項

ア　令和８年度千葉市稲毛区公民館事業計画について委員より意見を伺った。

６　会議経過

・　開会

・　委員紹介

本年度より新たに審議会委員として着任した髙山善則委員、保田裕介委員の紹介

・　生涯学習振興課長挨拶

・　議事

（１）報告事項

ア　令和６年度千葉市稲毛区公民館利用状況について

会議資料に基づいて稲毛区全体の利用状況について説明した。また、稲毛区公民館図書室の整備状況及び貸し出し状況について説明した。

井上委員長　　ただいま小中台公民館長より、公民館利用状況について説明があった。ご質問ご意見があればお伺いしたい。

全　委　員　　特に意見なし。

イ　令和６年度事業報告について

会議資料に基づいて稲毛区各公民館長より説明した。

井上委員長　　ただいま各館長より、事業報告について説明があった。ご質問ご意見があればお伺いしたい。

全　委　員　　特に意見なし。

（２）協議事項

ア　令和８年度公民館事業計画について

井上委員長　　次年度の事業計画について、昨年度の事業報告の内容をはじめ、委員の皆さまのまわりで発生している地域の問題や課題を踏まえ、公民館でこんな講座を実施したらよいのではないか、また今後取り組んでほしいことなどのご意見・ご提案、またはご質問があればお伺いしたい。

草 壁 委 員　　少年教育、成人教育などの分類は年齢で区切っているのか。

中村室長補佐　　財団としては、管理運営の規準をもとに指定管理の事業を行っている。その中で、少年教育、成人教育、高齢者教育、その他とカテゴリーを分けたうえで事業を行うよう記載があり、そのカテゴリーに当てはめる形で実施をしている。具体的な年齢として、未就学児は保護者との参加が基本の

ため、家庭教育に分類されることもある。内容によっては、お子さんだけで参加する事業があり、少年教育に分類されることもある。

草 壁 委 員　年齢できっちり分けているわけではなく、重なるところもあるということか。

中村室長補佐　趣旨によって変わるため、仮に親子で参加しても青少年の育成に主眼があれば、少年教育に分類されることになる。

草 壁 委 員　緑が丘公民館の「脳年齢測定会＆シニア向けゲーム「e スポーツ」体験会」について、「e スポーツ」という言葉を使ってはいけない、と私たちも言われており、「健康テレビゲーム」と言うように指導いただいているがそのあたりはどうか。

百 瀬 館 長　おっしゃるとおりである。今年度は「健康テレビゲーム」という名称で開催したが、委員のみなさまにまだ浸透していないかと思い、令和 6 年度の事業報告では「e スポーツ」という名称で説明した。ただ、「健康テレビゲーム」が現在の正式名称で間違いない。

中 嶋 委 員　中核館以外は職員の数が少ないが、見学会など公民館外で活動する際は、来館者への職員の対応はどのようにしているのか。

宇 井 館 長　山王公民館で開催している見学会では、公民館にごく近い場所を見学先としており、公民館集合として実施している。同行する職員は、主事、館長で、公民館には職員が 1 人という形である。他館への協力の依頼はいまのところしていない。

中 嶋 委 員　以前バスハイクに参加した際に、中で活動している方の協力を得ながら開催したことがある。普段からのコミュニケーションで協力できれば、外での事業もある程度できるのではないかと感じた。

井上委員長　バスハイクは付き添い、危険なこともあるため、参加団体から募るということか。

中 嶋 委 員　公民館で活動しているいろいろな団体があるため、職員とコミュニケーションがあれば、ある程度得意な方がいる。普段から利用者との交流が大事だと思う。そうすれば公民館での事業の幅も広がると思う。

西 岡 委 員　素朴な疑問だが、図書室がある館とない館の違いはどういうことか。

志保澤課長　公民館図書室は、もとは図書館の分館として公民館と併設で作られていたものを、公民館図書室というかたちで公民館に一括管理をしていただくようになったという経緯がある。そのため、図書室がある館、ない館ができている。

井 村 委 員　稲毛公民館は、サークル活動の広報活動が頻繁に行われており、町内会へのチラシなど色々な事をしている。公民館の主催事業、サークル活動を合わせるとかなり活発に活動している印象がある。それに影響され、町内

会も色々と同じような活動をしている。稲毛公民館に感謝している。

清 水 委 員　６年度の事業報告を聞いて、工夫された講座持っており、参加してみたいと思った。応募の多い講座については、予算、講師日程にもよると思うが、できるだけ多くの市民が参加できるよう工夫していただきたい。その反面、参加が少ない講座について、ただ切るということも難しいと思うし、少なくても講座を楽しみにしている方がいると思うので、配慮していただきたい。

石津谷委員　各公民館の地域性もあり、主催事業に独自特色を出そうとされていると思うが、人気のある講座とくに外部の講師を招くものは、他の公民館に紹介することはあるのか。人気のある講座はほかの公民館でも開催してよいのではないかと思った。

谷 副 館 長　例えば、昨年度小中台公民館で実施したコーヒーの講座では、他館も同じ講師で同じ講座を実施するなど、人気のある講座については複数館で開催しているものもある。

保 田 委 員　公民館が生涯学習の拠点として、運営されていることがわかった。中学生は自習室の利用が多いと聞いている。地域の学び舎として、中学校も公民館と朋に協力していく。

佐 藤 委 員　各公民館が地域の特色を出して、様々な講座を実施していることが素晴らしと思った。学校と違い公民館は来館者の年齢層が多様であることが大切だと思った。小学生も習い事等で忙しいが、夏休みの講座などで地域を知り、交流の場に混ぜていただければありがたいと思う。また、保護者からご意見を頂くこととして、異常気象による熱中症、ＷＧＢＴについてどの数値だとどのような活動になるのか、ということを気にされている。学校では計測をしながら活動しているが、それ以外の場所では浸透されていないようなので、地域と連携しながら熱中症予防ができるとよいと思う。

荒 川 委 員　黒砂公民館のＺＯＺＯツアーの事業内容を具体的に説明してほしい。

中 島 館 長　ＺＯＺＯの本社が黒砂公民館から歩いて 10 分ほどの場所にある。近隣にあるということで、ＺＯＺＯにお願いして見学会を実施した。

荒 川 委 員　非常に興味がある。見学会はなぜ実施できたのか。

中 島 館 長　地域の子供会を通して、ZOZO 本社に見学会を依頼した。社員の方が社内を案内してくださり、ちょっとしたお土産もいただいたようである。

髙 山 委 員　石津谷委員と似た意見になるが、各公民館で人気の講座は他の公民館で実施してほしい。例えば、稲毛公民館が開催した講座を都賀公民館で稲毛公民館が主体になってやる、というようなことは考えられないか。稲毛と作草部はつながりが強く、浅間饅頭が人気のようなので、都賀公民館で実施すると大変だと思うが、都賀公民館を使って稲毛公民館の方が主催して

地域のものをやるのはとても良いと思うので、考えていただければと思う。都賀公民館に他の館で人気のものを都賀公民館で開催してくれないかと尋ねたこともある。稲毛の中の他の公民館が別の公民館で主催してやるというのも稲毛としてつながりができると思うので、検討してもらえればと思う。

森 本 委 員　近年猛暑のために、子供たちも外で活動少しずつ減ってきていると思う。草野公民館の地域にはあやめ台小、草野小があるが、学校と公民館で協力して色々と活動している。熱中症については年齢関係なく注意が必要であるため、公民館で対策の講座の実施　また、救急法やＡＥＤなど災害時の講演なども実施していただければと思う。

堀 谷 委 員　山王公民館地域には工場が多くある、都賀公民館地域にはマンションが増えお子さんが多いなど地域性が目に見えるようで、それを大事にされている館長さんたちの努力をとありがたいと思う。オオムラサキの講座の発祥は千草台元館長で、いつまでもお元気で講座が続くとよいと思っている。

中村副委員長　轟公民館は主催事業が令和６年度は６２事業、連協加盟団体が５５団体、ということがだが、それにより部屋が取れないということはないのか。

秋田館長　部屋が取れないということは起きていない。人数の都合により、部屋の移動をお願いすることは時々ある。

井上委員長　本日の意見を参考にした今後についての検討を期待する。

他にご意見等がなければ、以上で議事は終了とする。

・　閉会